

都・歯科衛生士会に新風」とにかくやってみよう

復職支援&離職防止の両輪で取り組む



東京都歯科衛生士会 藤山美里会長 佐藤静香副会長

interview

晩秋と言うにはまだ早い、季節外れの暖かい空気が漂う10月末の日没。東京都歯科衛生士会の事務所に足を運ぶと、にこやかに出迎えてくれたのが藤山美里会長、佐藤静香副会長だった。聞けば、その後に役員会議を控えているとのこと。会のために精力的に取り組む姿が眩しく映った。

東京都内の歯科衛生士が所属する同会は、歯科衛生士の資質の向上などを目指し、歯科衛生の普及・啓発のため、日夜活動する。今回は2019年から同会の会長・副会長を務める両氏に歯科衛生士を取り巻く状況や、今後の課題などについて聞いた。聞き手は、当協会の早坂美都副会長。

まずは歯科衛生士を目指したきっかけから教えてください。

藤山会長(以下、藤山) 私は高校卒業後に服飾美術の短期大学に進学しました。在学中はパレルの仕事をしていたのですが、手に職を付けて新たな世界で活躍したいと思い、卒業とともに歯科衛生士専門学校に進学。まったく違う世界ではありましたが、父が歯科医師だったこともあり、歯科業界が医療のなかでは身近でした。父には合格してから報告しましたが、父には合格してから報告することを喜んでくれたのを思い出します。

さとう・しずか 日本大学松戸歯学部付属歯科衛生専門学校卒業。一般歯科診療所・障害者歯科診療所・特別養護老人ホーム・小中学校等の集団歯科保健指導等に従事。2013年より公益社団法人東京都歯科衛生士会理事、2019年より同副会長就任。

ふじやま・みさと 服飾美術の短大を卒業後、日本歯科大学付属歯科専門学校(現:日本歯科大学東京短期大学)に入学。卒業後はライオン歯科衛生研究所に入所。2006年からはカンボジアでの歯科ボランティアを軸に、フリーランスとして学校での歯科保健活動や学生教育にも関わる。2015年より日本教育財団首都医校に勤務。2019年公益社団法人東京都歯科衛生士会の会長就任。

佐藤副会長(以下、佐藤) 高校の進路指導で勧められて歯科衛生士を目指しました。それまで歯科衛生士の存在は知りませんでしたが、先生の指導がきっかけになりました。一では最近の歯科衛生士の状況から教えてください。

藤山 まず、歯科医院での歯科衛生士不足の声はまだ絶えません。それを解消するためか、歯科衛生士養成校はここ数年で増え続け、現在、東京都内には20校の養成校があります。来年もまた増えるという情報も。しかし、人口減少も影響し、歯科衛生士を目指す層がぐんと減っているのが現状で、定員数を満たしていない学校は少なくありません。

佐藤 歯科医院はもちろん、さまざまな分野から歯科衛生士のニーズの声をいただきますが、それに応えられる歯科衛生士数が足りておらず、人員不足が喫緊の課題であり、解消に向け活動したいと思っています。

一現在、都内では何人程度の歯科衛生士の方が働いていますか。

藤山 厚生労働省の情報では、令和2年末現在の東京都の就業歯科衛生士数は1万5千45人です。まだまだ女性が多い職種ですが、男性の歯科衛生士もおり、30名ほど報告されています。今期より、本会理事に2名の男性歯科衛生士が入り、多方面で活躍していただいています。

一歯科衛生士会として最も力を入れていることは。

藤山 本会は年間を通してさまざまな内容の研修会を開催していますが、その中には東京都からの予算をいただき、委託事業として実施しているものもあります。数年前までは「復職支援」のみを目的としていた研修会を、現在では「離職防止」も目的に掲げていることがトピックスです。

佐藤 そうした講習会には申し込みが殺到することもありますね。

一今後、重点的に取り組みたい課題はありますか。

藤山 復職支援・離職防止の研修会は、2日間コースでみっちりメニューを組みます。座学だけでなく実際に手を動かす実習も組み入れ、講師とマンツーマンの手厚い指導を受けられる形態です。会員ではない方も無料で参加できたり、託児所を設け育児中の方も参加できるようにしたりする点が特徴です。今後の課題は、開催頻度を増やすなどとして、参加者の利便性を高めたいと思っています。

一ほかにはどのような講習会か。

藤山 例えば介護、在宅の現場で活躍したい方に向けて「在宅訪問歯科衛生士応援セミナー」を毎年開催しています。コロナ禍においては講義形式の講習会が中心でしたが、今後は講義に加え、現場での体験で、「在宅診療でこれができる」と目に見える内容を盛り込みたいです。本来は職場の先輩から教えてもらえる環境があれば良いのですが、歯科衛生士が一人です先生も診療で忙しいというケースもよくあるので、知識や技能の習得が難しい方の手助けになりたいと思います。そのほか、診療報酬・周術期・口腔機能低下症・摂食嚥下機能障害・業務記録・シャープニングなど、さまざまな研修会を開催しております。

高校生へのアプローチがカギ

一今後、重点的に取り組みたい課題はありますか。

藤山 前述したように、18歳人口は減少局面です。それに伴い数年前からは歯科衛生士の志願者を増やすため、高校生へのアプローチに力を入れています。職種紹介のリーフレットを作成し、都内各所の歯科衛生士学校マップ一覧も盛り込み、全都立高校に配布するなど、今まで目を向けていなかった層への新しい取り組みを行っています。また、今後は歯科医院にも配布し、歯科助手の方に付けて歯科衛生士資格の取得をPRしたいと考えています。最近ではデジタル化で紙の媒体は見えないという声も聞きますが、受動的に情報が入れば、少しでも当会が意識の中に入るといい、リーフレットを定期的に送るようになっています。

一学校へのアプローチは組織の継続の視点で大事な点だと思います。

藤山 本会では、歯科衛生士養成学校との協議会を年に2回実施してい



一歯科に関する思い出を。

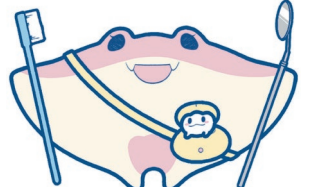
藤山 私は歯科衛生士学校卒業後に企業に勤め、歯科保健啓発活動に従事していました。その中でカンボジアでの歯科保健ボランティアに出会えたことが、何より私の宝です。05年頃から約20年間、何回カンボジアに出向いたことでしょうか。歯科衛生士でなければ、途上国との関わりはなかったと思うので、歯科衛生士の資格を取って良かったです。そして、スキルを活かし、国境を越えてカンボジアの子どもたちと接することができた機会は、本当に自分にとっての宝だと思っています。

佐藤 私は元々診療所勤務でしたが、院長先生の紹介をはじめ、歯科衛生士は狭いながらも外とのつながりが持っています。その先には素敵な人がいることがあり、素晴らしい方のそばにいてただで自分の勉強になり、スキルアップへのヒントを見つかることもできます。そして、どんな仕事を楽しめると実感しているところです。

一最後にお二人の座右の銘を。

藤山 「人間万事塞翁が馬」です。カンボジアとの出会い然り、東京都歯科衛生士会の会長を務めていること然り、今までのことを振り返りますと、この言葉が自分に当てはまっている。何が起る分らない人生ですが、安易に「喜ぶ」憂せず、とは言え、できる限り前向きに楽しく過ごしていければと思います。

佐藤 「笑門来福」です。笑うと口角の端から幸せが入ってくると聞いたことがあります。気持ちよく笑って口角を上げるのが大事だと思います。今すごく幸せなので、これからも大切にしたいです。一本日はありがとうございました。



広報活動の一翼を担うエイせいさん